

科学研究的楽しさ学ぶ

サイエンス
トリップ テシエルさん (沖縄科学技術大学院大学) 講師



生徒たちに自身の研究課題などについて説明する
テシエルさん (右) =宮古高校

OISTサイエンストリップin宮古島 (主催・沖縄科学技術大学院大学) が9日から、県立宮古高校 (平良智枝子校長) でスタートした。同校理数科の1年生から3年生まで約50人が参加し、同大学研究員のマエヴァ・テシエルさんによる科学者の仕事や自身の課題研究の説明などに耳を傾けたほか、研究活動に対するアドバイスなどを受けた。きょうは午後2時から3時30分まで市内の小中学生を対象に県合同庁舎で行われる。

テシエルさんは「科学者の仕事とは、知りたいことを隅々まで調べ、まだ誰も知らないことを発見すること。世界中を駆け回って仕事を」などと説明。

自身の研究課題について「私は今、ミツバチに付着しているダニなどの寄生虫を研究している。ダニはミツバチを殺す力があり、別のミツバチに移る能力もある。ミツバチの研究を続けるうちに、ハチミツを集めるという技術が身についてしまった。科学の研究は、私生活に役立てることもできる」と話した。

続いて「科学の研究は難しく複雑だと思われがちだが、楽しいこともたくさんある。将来、科学者を目指している人は情熱を持って学ぶ姿勢を取り、良い結果を出すまで細かいところもとことん追求するよう心掛けてほしい」と呼びかけた。